評価シート　様式

取組名	「命薬の里」親やんばる国頭の資源活用に係る方策検討調査		
実施団体名	やんばる国頭の森を守り活かす連絡協議会	対象地域	沖縄県国頭村全域
(代表団体名)	国頭村役場	推薦団体名	

① 実施状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	■ 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		■ 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	□ 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		□ 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	□ 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		□ 実施した取組について、主体的に実施されたとは判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続展開の見込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	■ 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		□ 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	□ 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		■ 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	□ 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		□ 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	「命薬の里」親やんばる国頭の資源活用に係る方策検討調査		
実施団体名	やんばる国頭の森を守り活かす連絡協議会	対象地域	沖縄県国頭村全域
(代表団体名)	国頭村役場	推薦団体名	

⑤ 総合評価

○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見

環境保全型ツーリズムと食文化の再構築を通じて地域保全と交流人口増大の両立を目指す先導性の高い事業である。

○ 評価

□ ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。

■ 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。

□ ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。

（評価の考え方及び次年度以降に向けた所見）

本取組は、最大の地域資源である森林の管理と複合的利用を中心として、環境保全型ツーリズムと食文化の再構築を通じて、地域保全と交流人口増大の両立を指向する取組であり、地域の住民や関係団体が参加し、地域全体の取組として、恒常的に持続可能な交流モデルを構築しつつある点が高く評価できる。今後は、以下に留意しつつ地方の元気再生事業として支援を行うことにより継続的な展開が期待できるものである。

次年度以降については、事業の本格展開に向けて、一層の具体性を持たせて地域資源の活用を進展させることが最大の課題であると考えられるため、それらの視点を踏まえた取組の深化及び体制整備・人材育成に特化して取組を行うべきである。このためには、国内外の先進事例や本年度実施のモニターツアーを検証し、環境保全型観光の提供プログラムの作成をすすめるとともに、森林管理保全とツアー支援が連携した体制・人材育成を行うことが必要である。「いわれ食の発掘」については、交流促進の全体戦略のなかで、その活用方法を明確にした上で、この戦略上有効なものに絞って開発・商品化を進めるべきである。環境保全型林業の提案については、地域資源活用とは別に、国土管理などの視点からも地域全体の問題としてとらえるべきである。

個別の取組としては、環境保全型林業の提案以前に、命薬ガイドツアーや特産品の商品化・販売促進に絞って確実に取組を進めるべきである。また、個々の取組を迅速にスタートし計画的に進めるべきである。